

真の活力を取り戻し将来に希望がもてる日本、国民が安全と安心を享受できる新しい日本を創造していくため、これまでの閉塞感を打ち破り、未来に向かって前進するための明確な方向性とリーダーシップが、今まさに必要とされていると思います。

新市10年の節目を迎えて

そうした社会の気運とともに、本年は西条市にとりましても、さらなる飛躍・発展をめざすうえで、未来を見据えたまちづくりの新たなスタートを切る年であると強く感じております。

本年は、合併により新西条市が誕生してから10年の節目を迎えます。この間、産業振興を主軸とする独自のまちづくり施策を展開し、東予地方で大きな存在感を示す都市へと成長を遂げました。

四国有数の産業基盤や豊かな地域資源を有し、高い「総合力」を誇る本市であります。その持てる力を十二分に発揮し、さらなる飛躍・発展を成すためには、市民の皆さま一人ひとりと知恵を出し合いながら、融和を図り、共に協力して、まちづくりを進めることが、これからの市政に求められています。

まちづくりのスローガンは「創ろう 最上のまち西条を！」

～最高峰 石鎚のふもとで～

この大切な節目の年を、新市10年の歩みの中で築き上げた西条市の今を出発点として、市民の皆さま、議会の皆さまとともに、それぞれの持てる力や知恵を結集し、地域の「可能性」を開花させて新たなまちづくりを進めてまいりたいと考えます。

そして、この新たなまちづくりによって、石鎚や燧灘の豊かな恵みを受けながら、全ての人が住み慣れた地域の中で支え合い、安心して生き生きと暮らすことができ、市民、企業、行政が、それぞれの持てる力を発揮し合い、共に手を携えて地域の元気を生み出すまちを創ろうではありませんか。

また、四国地方における交通の要衝としての恵まれた地勢条件を活かしながら、本市の持てる「総合力」と「潜在力」を生活の豊かさや地域の活性化に結び付け、併せて地域情報を積極的に発信することにより、人・もの・情報が集う魅力ある都市の実現へとつなげていこうではありませんか。

これら西条市のさらなる飛躍・発展のため、地域が誇る石鎚山にあや

かつて、最上の福祉、最上の教育、そして最上のまちづくりをめざし、「創ろう 最上のまち西条を！」

～最高峰 石鎚のふもとで～

をまちづくりのスローガンに掲げ、市民の皆さま、議会の皆さまと心をあわせ、未来に向け果敢に挑戦してまいれる所存であります。

未来へと向かう

新たなスタートライン

以上のような思いをもって、新年度を、新市10年の歩みを踏まえ、未来へと向かう新たなスタートライン、その始動の年と位置付け、市民憲章の制定や第2期総合計画の策定を行い、新たなまちづくりのビジョンを定めるとともに、引き続き、対話を通して理解、納得、協力を得る「協働の市政」、市民の皆さまと行政のパートナーシップに基づく「市民総参加のまちづくり」を基本姿勢として、市政運営に取り組んでまいります。

特に、本市発展の礎を築いてこられた先人に深く感謝しながら、市民の皆さまと共に手を携え、誰もが住んで良かったと実感できる最上のまちづくりに邁進する決意です。



▲地域の課題や市政の推進状況について、市長と対話のキャッチボールを行う「市政懇談会 ～市長とキャッチボール～」



▲平成27年度以降10年間の計画『第2期総合計画』策定のため、市民の皆さまから幅広く意見をいただく「まちづくり検討会」